

OMNI USB の導入(4) (HP 収載)

—デモ機によるテスト(3)—

1. 始めに

前報(2)でデモ機における電源エラーと DAC からの音出しがでない問題も見通しが立ち、USB DAC を替えたりし、前報(3)では USB トランスポートを替えてみました。今回さらに USB DAC を替えてみます。

2. OMNI USB の試聴方法

テストする対象とし PC→Sonica DAC の USB 経路とし、下図の Source Device は PC に、USB DAC は Sonica DAC ということになります。



音源は、PC の STAGE+配信音源を試聴し、OMNI USB 介在で試聴していきます。試聴音源は下記のとおりです。

ヴェネチアからのニューイヤーコンサート

ローザ・フェオラ (ソプラノ)、ジョナサン・テテルマン (テノール)

ミケーレ・マリオッティ指揮ラ・フェニーチェ劇場合唱団

ニコロ・パガニーニ 24 のカプリース

マリア・ドゥエニャス (ヴァイオリン)

3. OMNI USB の試聴結果

STAGE+配信音源の再生は下記の経路で試聴します。

PC→【USB OptiLink】→【OMNI USB】→Sonica DAC→DA-3000→

Brooklyn DAC+

電源 ON は前報(2)の結果を基に PC→OMNI USB →Sonica DAC の順に入れていきました。

OMNI USB から Sonica DAC への送り出しは問題なく、Sonica DAC のアナログ信号は DA-3000 で 5.6MHzDSD に変換して、SDIF 接続により Brooklyn DAC+に送り出して再生することができました。

音質的にも十分満足できるレベルですが、評価の詳細については機会をみて実施します。

このことにより PC で受信した配信音源を DA-3000 で 5.6MHzDSD として録音できる見通しも立ち、5.6MHzDSD 音源に OMNI USB の効果を記録できることになりました。

4. まとめ

PC から Sonica DAC への送り出しに OMNI USB を介在させて再生することができました。このことにより PC で受信した配信音源などを DA-3000 で 5.6MHzDSD として録音できる見通しが立ちました。

以上